

『サバティカルとは何か』



北海道大学 小児科 名誉教授
真部 淳 先生

2026年 7月 16日(木)
18:00～ ハイブリッド開催

医学部臨床講義棟 **第4講堂** + **ZOOM**

古来、大学の教官は7年に1回、サバティカル休暇(Sabbatical)を取ってきた。普段できない研究を行い、英気を養うことを目的とする。次の目標が定まり、大学に戻ってからの仕事が充実すると言われている。充電期間ともいう。実際に北大には「サバティカル研修」規定があり、講師以上の教官は7年に1回、3ヶ月から12ヶ月、教育・管理・運営の職務を免除され、研究に専念できる(北大ホームページを参照)。医学部教官はこの制度を活用することが少ない。私は北大退官後、「擬似サバティカル」として、3週間と短期ではあるが、ヨーロッパ随一の小児がんセンターであるPrincess Maxima Center(オランダのユトレヒト)に滞在し、小児がんの基礎と臨床の最新の研究体制を学んだ。今回の経験を紹介し、医局員の今後のキャリア形成の糧としていただきたい。

※Web参加の方は、Zoomミーティングにご登録の上お入り下さい →→→



興味のある方はどなたでもお気軽にご参加下さい！

パソコンでの参加用URLをご希望の方は、下記アドレスにご連絡下さい

○ 北海道大学小児科 医局 TEL: 011-706-5954 FAX: 011-706-7898
E-mail: secretary-ped@med.hokudai.ac.jp